

2023年6月24日(土) — 10月1日(日)

同時開催 ちひろ 子ども百景

谷内こうた展 風のゆくえ



「のらいぬ」(至光社)より 1973年(個人蔵)



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

主催: ちひろ美術館 協力: 谷内富代、至光社、平凡社、ギャラリー杉野
後援: 絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、
日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、西東京市教育
委員会、練馬区

chihiro.jp





谷内こうた 1947~2019

神奈川県に生まれる。多摩美術大学絵画科進学後、家業のろうけつ染めを手伝う。20歳のときに、叔父の谷内六郎のすすめで初めての絵本の絵を描き『ぼくのでんしゃ』『おじいさんのばいおりん』至光社の武市八十雄に認められ、同社より出版。1971年に『なつのあさ』でポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。同年に渡欧し、油彩画の制作を中心に活動。『のらいぬ』『つきとあまぼうう』にて1979年、1981年BIB金のりんご賞受賞。2019年ルーアンにて没。

谷内こうた展 風のゆくえ



谷内こうたは、一九七一年、24歳のときに3作目の絵本『なつのあさ』で日本人として初めてポロニーヤ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞、鮮烈なデビューを果たしました。そぎ落とされた絵と詩のようなことばで展開していく絵本は、ヨーロッパや日本で驚きをもって迎えられました。移り行く光や空気を色の変化であらわし、現実と架空の世界を自由に行き来する谷内の絵本は、今も見ると魅了し続けています。ドイツやフランスの四季折々の自然や街並みの風景を愛した谷内は、35歳のときに家族とともにノルマンディーに移住し、アトリエを構えて数多くの油彩画を描きました。本展は、二〇一九年に71歳で亡くなった谷内の、絵本原画や、初公開作品も含めた雑誌の表紙絵、タブローなどを写真や資料とともに展示し、その画業の全体像を紹介します。

『のらいぬ』(至光社)より 1973年(個人蔵)



『ぼくたちのやま』(至光社)より 2018年(個人蔵)



『なつのあさ』(至光社)より 1970年(ちひろ美術館寄託)



テーブルのすぐりの実 1971-73年(個人蔵)



宿の裏庭 1978年(個人蔵)

会期中のイベント 詳細はちひろ美術館公式サイトでご案内します。※開館情報、会期、イベント情報は予告なく変更する可能性があります。ご来館前に必ず最新情報をご確認ください。

谷内こうた展 関連イベント

- **講演会**
ボンジュール こうたさん！一父と絵本の旅ー
7月9日(日)14:00~15:00
講師:谷内章(ガリマール出版社児童局)
参加費:800円(入館料別)
定員:ちひろ美術館・東京 図書室20名、オンライン80名 申し込み:要事前予約(公式サイト、Peatixにて6/9より受付)
- **鼎談**
編集者が探る 谷内こうたと絵本の魅力
9月10日(日)14:00~15:30
講師:市河紀子(フリーランス編集者)、千葉美香(偕成社編集部)、柴田こずえ(フリーランス編集者)
参加費:800円(入館料別)
定員:ちひろ美術館・東京 図書室20名、オンライン80名 申し込み:要事前予約(公式サイト、Peatixにて8/10より受付)

ちひろ展 関連イベント

- ※すべて参加費無料(入館料別)
- **わらべうたあそび**
7月15日(土)11:00~11:40
講師:服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)
対象:0~2歳児と保護者 定員:8組16名
申し込み:要事前予約(公式サイト、TELにて6/15より受付)
- **松本猛ギャラリートーク**
8月6日(日)14:00~14:30
講師:松本猛(いわさきちひろ長男・ちひろ美術館常任顧問)
定員:15名 申し込み:当日受付
- **ちひろ忌・アトリエトーク**
8月8日(火)11:00~11:20/14:00~14:20
定員:各回15名 申し込み:当日受付

その他のイベント

- ※すべて参加費無料(入館料別)
- **開館記念日・たてもの探検ツアー**
9月10日(日)11:00~11:30
定員:15名(先着順)
- **敬老の日**
9月18日(月・祝)
65歳以上入館無料
- **ギャラリートーク**
第1・3土曜日 14:00~14:30
定員:15名 申し込み:当日受付
- **絵本のじかん**
第2・4土曜日 11:00~11:30
定員:15名 申し込み:当日受付
協力:NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

同時開催

ちひろ 子ども百景
いわさきちひろは、あかちゃんの月齢を描き分けることができた画力と、母親としての深い愛情で、あらゆる子どもの姿を絵のなかにとらえました。初期のスケッチから中期の絵雑誌、後期の代表作までを展示し、ちひろが描いた子どもの情景の変遷をたどります。あわせて、『私は赤ちゃん』など、松田道雄との育児書の仕事に注目します。



いわさきちひろ おつむてんてん 1971年

展覧会公式図録『谷内こうた 風のゆくえ』(平凡社) 谷内こうた・著 ちひろ美術館・監修 2,420円(税込)

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL.03-3995-0612 テレホンガイド 03-3995-3001 FAX 03-3995-0680
●開館時間=10:00~17:00(入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ●入館料=大人1000円/高校生以下無料/年間パスポート3000円 ●交通 ●電車の場合=西武新宿線 上井草駅下車徒歩7分 ●バスの場合=JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分



次回展示予定

10月7日(土)~2024年1月14日(日)
ちひろ美術館セレクション
2010~2021 日本の絵本展
いわさきちひろ やさしさと美しさ